



そのだ南

尼崎市立園田南小学校

学校便り 第12号

令和4年3月2日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html

好きを力に変える

校長 佐藤 喜代子

3月に入りました。暦の上では春に向かっていますが、寒さが続く中、新型コロナウイルスの感染が収まることのないまま、感染不安を含めた欠席がゼロの日が待ち遠しい状況が続いています。まん延防止等重点措置が延長となり、保護者の皆様に子どもたちの成長した姿を見ていただく機会が持てずにいることをとても心苦しく思っています。その分、子どもたちの学びの記録を持ち帰って見てもらえるように工夫したいと考えているところです。いよいよ、子どもたちにとって締めくくりの月となります。次のステップへの集大成となるよう、気を引き締めて大事に過ごしたいと思いを新たにしています。おうちでも、温かい後押しをよろしくお願いいたします。

冬のオリンピックが終わり、次はパラリンピックが始まろうとしています。数々のドラマがあり、見ているものに驚きと感動を与えてくれています。どの競技もほんの一瞬で勝敗が決まる、とても繊細で厳しい世界だと感じます。

そんな紙一重の戦いの中で、スノーボードで金メダルを取った平野歩夢選手は、二刀流といわれるように、夏のオリンピックで初めて種目となったスケートボードでも日本代表として出場しました。足を固定されないスケートボードでの練習が、固定されるスノーボードの練習に大きく活かされたといいます。すごい高さのジャンプや、点数が思うようにならなかった思いを最後の滑りにぶつけて、完璧に技を決めるなど文句のない出来ばえでした。平野選手がスノーボードやスケートボードで活躍し始めた頃は、まだまだ派手なスポーツとしてしか見てもらえなかったこともあり、人前で自慢することはなかったといいます。みんなに認めてもらえるように、大好きな競技に人一倍努力を重ねた結果が、メンタルの強さに表れ、今回の活躍につながったと思います。

一人で最多のメダルを獲得した高木美帆選手は、中学高校の時は、朝から新聞配達をして、自分のお弁当を作り、自転車を10km走らせて高校へ通ったといいます。部活動では、先輩の飲み物の用意や用具の後片付けを率先して行い、全体練習が終わり、他の部員が帰った後も「スライドボード」と呼ばれる板の上で左右に滑るトレーニングを欠かしませんでした。部活動の後に取り組んだダンス教室や、サッカーなど他の運動経験が体を鍛え、バランス感覚を養い、柔軟性を鍛えることにつながりました。スケート選手の「前に体を倒しながら低い姿勢で滑る力」は、そうやって鍛えられました。そんな積み重ねが初めて挑んだ短距離レースでもメダルを取ることにつながりました。5種目7レースという過酷な状況に耐えうる力強さとスタミナは、禁欲的な食生活で作上げた疲労にも負けない強靱な肉体があったからだといいます。

食事を見直したのは、2017年5月。直前のシーズンは海外遠征中に疲労が蓄積し、体重が減って成績が伸び悩んだ。高校時代に弁当を作っていたので料理は得意だが、一人暮らしを始めて献立作りに苦戦した。管理栄養士の村野さんに支援を受け、キレのある動きで最後までスピードを落とさずに滑れる体をめざしたという。ほぼ毎食、食事の画像を送り、アドバイスをもらっていたそうだ。筋肉のもとになるたんぱく質を補うために、海外でも鶏のささ身やツナを用意していたという。ホテルでも、皿に乗せるコメの量を計測して、トレーニングと試合の日を分けて適量を口にしました。食事で体が変わったのを前回のオリンピックで実感した高木選手は、たんぱく質が豊富なレシピの料理にチャレンジしている。地道な努力が実り、瞬発力と持久力を鍛え上げて最後まで滑り切り、たくさんのメダルを獲得して、思うような試合（渾身のレース）ができたという。

そして、成長の原動力になったデビット・コーチには、以前、外国勢の活躍を見ていた高木選手に、「同じ人間ができてることなんだから、なんで自分もできるって思えないの?」と声をかけられたという。「後々、自分のなかで大事な言葉になっていて、自分もできるんだって強く思えることが、いろいろな面で大事なことだなと感じることがある」と、その言葉は今も心に響いているという。

最後に、日本中を熱い気持ちにさせてくれたカーリング女子の活躍には、応援するこちらまで笑顔にさせてくれる前向きで、ほっこりとしたチーム力の賜物だったと感じます。

その中の吉田知那美選手はこう語っています。「今までの五輪と一番何が違ったかと考えると、私自身はこんなに人に甘えて、人に励まされて、人に頼った五輪は初めてでした。より速く、より高く、より強くーをモットーとするオリンピックですけど、より弱く、よりカッコ悪く、よりダサくても、チームとしてやりたいカーリング、プレーを突き詰めれば、メダルを手にする事ができるんだなという。」と。

強い精神力の源は、大好きな競技への思いが、日々の苦しい練習を乗り越えさせて自信となり、いろいろな支えを力に代えて出し切った成果であるといえます。勝利も敗北も強い絆になるといいます。思い描いた結果が残せなかった選手たちもそれぞれに努力を積み重ねたことが今後必ず生きてくると思われます。

ついつい我々は、数字としての結果ばかりを求めてしまいがちですが、皆さんの未来は未知数です。今の自分を決めつけることなく、まずは何か夢中になれる好きなものを見つけてほしいと思います。打ち込める好きなもので自分を輝かせるには、しんどいからとか、めんどうだからと逃げ出さずに、いろいろな角度からとことん攻めてほしいと思います。また、小さな世界に閉じこもることなく、違う景色や違う考えの人とせめぎ合うことで、いろいろなものが見えてきて、見る目や考える世界が広がります。いろいろな価値観が自分を大きく変えてくれると先人たちは教えてくれています。 参照：読売新聞 R4.2.14 2.18

今年度も大変お世話になりました。次のスタートが、夢ふくらむ希望の春となりますように!!

3月 行事予定

1日(火)	6年お別れ遠足	諸費振替日	17日(木)	卒業式準備	●
2日(水)	委員会・クラブ		18日(金)	第40回卒業証書授与式	
3日(木)	6年生を送る会 登校指導	●	19日(土)		
4日(金)	6年生を送る会(予備日)		20日(日)		
5日(土)			21日(月)	春分の日	
6日(日)			22日(火)		
7日(月)	朝会		23日(水)		
8日(火)			24日(木)		●
9日(水)			25日(金)	修了式 大掃除 ※3校時まで(式校時11:30頃下校)	
10日(木)		●	26日(土)	春季休業日~4月6日(水)	
11日(金)			27日(日)		
12日(土)			28日(月)		
13日(日)			29日(火)		
14日(月)			30日(水)		
15日(火)			31日(木)		●
16日(水)	給食終了				●は教職員の定時退勤日

4月の予定

7日(木)始業式・着任式 8日(金)入学式 12日(火)離任式
※4月の詳しい予定は、学年からの「春休みのくらし」等でお知らせします。



3学期
生活目標

感謝の気持ちをもって、落ち着いた生活を送ろう

3月の
めあて

学校を美しくしよう。

お知らせ

2月8日(火)に児童会役員選挙が行われ、新児童会役員が決定しました。

会長 5年1組

うちだ あやな
内田 絢菜

副会長 5年1組

さめじま ななみ
鮫島 七海 4年4組 はやし なな
林 奈那

書記 5年1組

おおおか ふみと
大岡 史 4年1組 ひょうご れいな
兵庫 怜奈 4年3組 たけうち ふう
竹内 歩生



1年間本当にありがとうございました

昨年度に引き続き、子ども達は、コロナ禍の中、色々な事に制限をされる中で本当によくがんばってくれました。毎日の学校生活や様々な行事・活動を通して、それぞれが成長することができたのではないかと思います。それも、保護者の皆様の毎日の励ましがあったからだと感じております。本当にありがとうございました。

また、今年度は、十分な授業参観や懇談会が実施できずに大変申し訳なく思っております。令和4年度は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きましたら、できるだけ早い時期に子ども達の学校生活を見ていただけるように取り組んで参ります。

保護者の皆様をはじめ、PTA 役員の皆様の本校教育へのご支援とご協力に厚く御礼を申し上げます。

教職員一同